

議会だより



山茶花(さざんか)：同じツバキ属のサザンカとツバキはよく似ていますが、ツバキは花が丸ごと落ち、サザンカは花びらが個々に散ります。花言葉の「困難に打ち克つ」「ひたむきさ」は、寒さが強まる初冬にかけて花を咲かせることに由来し、赤いサザンカの花言葉「謙譲」は、サザンカの控えめでどこかさびしげな花姿にちなみます。(高浜町湯谷)

contents

- ◇議長・副議長新年挨拶・採決一覧表 … P2
- ◇トピックス … P3～4
- ◇質疑・討論 … P5
- ◇一般質問 … P5～8
- ◇各委員会報告 … P9～13
- ◇「議員と語ろう会」報告 … P14～15
- ◇ライフセービングクラブ／編集後記 … P16

新年のご挨拶



議長
横田 則孝

新たな年を迎えるにあたり、町民の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年は、高浜町においては町村合併60周年を迎え、大きな時代の節目の年となりました。

急速な少子・高齢化と人口減少に伴い、地域経済の活力が低下し、農林漁業の低迷、地域の伝統・文化の継承などに多くの課題を抱えています。

地方においては、これまでにも増して活力ある持続可能な地域づくり・町づくりを進めていかなければなりません。

そのためには、地方の創意工夫を活かした「地方版総合戦略」の策定を踏まえ、人口減少の克服と地方創生のために「まち・ひと・しごと事業」を着実に進めていかなければなりません。

高浜町におきましては、役場新庁舎・公民館や中央体育館の改修など、また、青葉山麓の保全活用をした薬草栽培

や環境に恵まれた夏の海水浴場の「ブルーフラッグ」の取得など、新たな観光振興を進めていかなければなりません。

町民の皆様方のご理解とご協力をいただきながら取り組む所存でございます。

こうした施策が我が町、高浜町の将来を見据え、町民の皆様から期待される町づくりになるよう、真摯に議会としての責務を果たしていくことにお誓いし、新年のご挨拶と致します。

新年のご挨拶



副議長
上尾 徳郎

皆様方には、健やかに新春を迎えることとお慶び申し上げます。

昨年暮れより、高浜町の大きな課題の一つである高浜発電所3・4号機の再稼働もいよいよ最終段階に入りました。また、「まち・

ひと・しごと創生総合戦略」で人口減少対策の戦略と重点プロジェクトも示されました。

大型公共事業の整備が進む中、町が目指す「選ばれる町」には、ハード事業から人口減少対策の具体的な取り組みをはじめとして、防災や地域福祉など住民の「安全・安心」の為のソフト事業に重点を置いた施策が不可欠です。

いま、住民一人一人が地域の課題や町の課題に目を向

け、参画し協働して頂く事が求められます。

議会と致しましても、町民の皆様と連携をとりながら負託に応えるべく諸課題に真摯に取り組むことをお誓いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

12月定例会では以下の議案を慎重審議しました

議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第74号 平成27年度高浜町一般会計補正予算(第3号)について	予算決算	全員賛成で可決	P5・9
議案第75号 高浜町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	総務産業	賛成多数で可決	P5・10
議案第76号 高浜町ふるさと応援基金条例の制定について	総務産業	全員賛成で可決	P5・10
議案第77号 高浜町町税条例等の一部を改正する条例について	総務産業	全員賛成で可決	P10
議案第78号 高浜町青葉山健康長寿の里の指定管理者の指定について	総務産業	全員賛成で可決	P3・10
議案第79号 高浜町道の駅指定管理者の指定について	総務産業	全員賛成で可決	P3・10
同意第4号 固定資産評価審査委員会の委員の選任について(高浜町日置 一瀬守由氏 選任)		全員賛成で同意	—

いよいよ平成28年度よりスタート！



12月定例会において、議案78・79号では青葉山健康長寿の里「青葉山ハーバルビレッジ」、高浜町道の駅「シーサイド高浜」の指定管理者について議会提案され、審議の結果、全員賛成で可決されました。



道の駅シーサイド高浜

青葉山健康長寿の里・高浜町道の駅
指定管理者が決まりました

■指定管理者情報

- 施設名／道の駅シーサイド高浜
- 指定管理者／株式会社ウェイザ
- 所在地／東京都八王子市小比企町3504
- 職員数／総数57名
- 特色／中日本高速道路株式会社グループに属し「道の駅八王子滝山」「道の駅・風のマルシェ 御前崎」の指定管理業務実績やセルフカフェショップの店舗営業、農産物の直売所の管理・運営のノウハウを有している。
- 指定管理料／年額1,800万円



青葉山健康長寿の里(完成予想図)

- 施設名／高浜町青葉山健康長寿の里
- 指定管理者／株式会社いきいきタウン高浜
- 所在地／福井県大飯郡高浜町事代6-1-1
- 職員数／3名
- 特色／平成24年度に青葉山に自生する動植物の調査を行い、希少種オオキンレイカをはじめ、約370種類のうち有用植物約150種類について商品開発の検討を進めていた。
- 指定管理料／年額1,500万円

■議員からの質問&理事者側の回答

Q 他の指定管理応募はあったのか。指定管理募集の広報は行ったのか。

A 応募はどちらもなし。1社のみ。広報は有線、新聞、ホームページなどで行った。

Q 現在の従業員はどうなるのか。

A 契約は平成27年度いっぱいまで終了となり再雇用での契約になる。

Q シーサイド高浜の平成27年度の指定管理料は920万円で、平成28年度は高額と思われるが。

A 劣化なども多く、設備投資で妥当。今後下げていく提案をする方向。

Q 高浜は西日本高速道路の範囲だが大丈夫か。

A 問題はないと思われる。

Q いきいきタウン高浜の職員は足りるのか。

A 平成28年度に職員を増やす方向。



高浜の観光の大きな要になり、高浜の魅力発信につながる2大施設の指定管理者が決定しました。町民の皆様から親しみ愛され、県外のお客様にも幅広く利用していただけるような施設であってほしいと議会も大きく期待しています。

文責／児玉 千明

嶺南各市町が対等な立場での議論を！



12月定例会で、嶺南広域連合設立に向けた協議機関である「嶺南地域広域行政推進委員会」会長の森下町長を始め野瀬町長、関係職員から嶺南広域連合の設立に向けた全体の進捗状況について議会として説明を受け、協議を行いました。

■注目ポイントは！

嶺南広域連合設立の大きな目的のひとつが『可燃ゴミ焼却施設』の整備です。

嶺南の各自治体で整備した施設が老朽化しつつある中、巨額の費用が必要な施設整備を各市町が単独で実施するのではなく広域で実施することが求められます。

このため嶺南各自治体の個別の事情も考慮して、嶺南を2ブロックに分けた施設整備を行う方針の説明を受けました。

■議会はどう受け止めたか

可燃ゴミ焼却施設に限らず、斎場の整備や不燃物の最終処分場の確保、リサイクル施設整備などを嶺南各市町で広域的に共同処理して財政を効率化していくことには理解を示しております。(既に有害鳥獣処理などで実績もある)

その上で、その他の事務も広域化していく中で各自治体の自治権はしっかり確保していくことや、広域連合の運営には責任ある執行体制の確立と議会運営が必要であることなどを申し入れしました。

また、広域連合の設立における他所事例から、人口規模の大小に関係なく各自治体が対等に議論していくことが重要であることを強く申し入れしました。

文責／小幡 憲仁

嶺南広域連合設立に向けた協議を行いました

あの件
どうなった??

トピックスの「その後」シリーズ 「塩屋」の現状について

前号の議会だより(第124号)のトピックス記事に掲載した、「塩屋」の現状についてお伝えします。

■議論の経緯

9月議会の予算審議において「塩屋」の責任の所在および方向性がわかる説明資料の提出を理事者側に要求し、上記の資料が提出された。



■今後について

「塩屋」に対する町民の皆様の不信感が払拭されるよう、継続して事業の丁寧な説明を理事者側に求めていきます。また、真にまちなかの活性化につながるよう、費用対効果の検証を行なっていきます。



本会議での質疑・討論

討論

議案第74号

賛成討論

上尾徳郎 議員

青葉山健康長寿の里事業について、この後決定される指定管理者との十分な協議をもって精査し、不要なものは省き適正に事業執行されるように申し入れて賛成とする。

質疑・討論

議案第76号

小幡憲仁議員

ふるさと納税の寄付金を基金に積み立てる特定目的基金条例であるが、基金を取り崩す際の使途が条例に明文化されていない。明文化すべき。

総務課長

条例施行規則に明記している。ふるさと納税の寄付者にも使途を示していく。基金を取り崩す際は議会にもしっかりと説明する。

反対討論

渡邊 孝議員

マイナンバー制度は、個人情報情報が漏れる恐れが強いので反対する。

賛成討論

栗野明雄 議員

行政の運用上必要であるが、個人情報情報は漏れないようにして頂きたい。国家も膨大な借金を抱えている。国にとって必要なことであるので、賛成とする。

賛成討論

小幡憲仁 議員

基金の取り崩しの際、議会へしっかりと説明するとの答弁があったので賛成する。

ふるさと納税は、本来、自分のふるさとを応援するため、現在の居住地で納める税金の一部を寄付する制度である。ところが、現状は寄付金の返礼品目的による寄付が拡大している。寄付者の居住地では税収が減ることから返礼品による過当競争となり健全な姿でない。返礼品に固執することなく制度の目的を逸脱しない運用を求める。



野瀬町長3期目の去就は

答弁

町民の理解を得て引き続き町政運営に当たりたい

小幡 憲仁 議員

STEM』の構築に取り組む。

【地場産業】農業では園芸や高付加価値産品（カット野菜や無菌のレタスなど）に取り組む。水産業では漁業所得の改善に取り組む。

【原子力発電】防災対策・避難計画の更なる充実、災害制圧道路の早期整備に取り組む。40年運転延長や使用済燃料問題に慎重に取り組む。国・事業者に対し立地自治体として適切な意見を伝える。

◆スクールカウンセラーの充実について

【小幡】 いじめや不登校など児童生徒や保護者のカウンセリングにスクールカウンセラーの充実が求められる。教育委員会の認識を問う。

【教育長】

県からの配置に加え町単独でも加配しており現状では充足している。情勢変化で加配が必要となれば適切に対応する。

【小幡】 町長は来春2期目の任期満了を迎えるが3期目の去就を問う。

【町長】 高浜町にとって重要な時期を迎える。町民の理解を得て引き続き町政運営に当たりたい。

◆今後4年間の重要課題に対する取り組み姿勢について

【小幡】 野瀬町長の3期目に向け、高浜町の重要課題について主な分野の取り組み姿勢を問う。

【町長】

【人口減少対策】総合戦略に基づく各施策を推進する。可能性のある分野には大胆に取り組む。

【子育て支援】妊娠・出産、子育てに切れ目ない支援を提供する『子育て世代包括支援センター（仮称）高浜町式ネウボラ事業』を推進し子育て環境を充実する。

【高齢者の福祉】認知症対策に万全を図るとともに『地域包括ケアシ



城山公園の管理状況を問う

答弁 城山整備事業として
事業を実施する

栗野 明雄 議員



遊歩道の現状

【栗野】山の頂上のツツジは一度切っただけ、道路は荒れ、法面は崩れたまま、遊歩道のコンクリートは割れたまま。海岸へ降りる遊歩道も手入れが必要である。管理不行き届きである。対応は。

【町長】

企業誘致の必要性は論を待たない。高浜町の特性にあった誘致をした。大規模な産業団地を競い合うことは考え直す時期である。

◆赤ふん坊やについて

【栗野】

赤ふん坊やはイメージキャラクターとして実績を上げてきた。適齢期になったので、家族構成など話題を提供してはどうか。

【副町長】

27才になる。父・母・ペットの犬、彼女もいる設定。赤ふん坊やの活用は町の活性化に役立つ。ファンを増やしていきたい。



◆産業団地の計画の現状は

【栗野】

これまでの答弁によると、平成

崩れた法面

管理・清掃は、シルバー人材センターに委託している。現状は認識している。管理・運営の組織作りが必要と考える。その時には協力願いたい。



町の今後の「住宅政策・施策」は

答弁 各種計画の整合性を図り
優先順位を付け計画的に進める

上尾 徳郎 議員

体的整備計画をまとめたい。

【上尾】人口減少対策「総合戦略」の住宅施策を踏まえ、次の項目を問う。
①各種住宅支援制度の施行状況は。
②空き家対策特別措置法が施行されたが対応と進捗状況は。
③老朽化町営住宅の整備計画は。

【建設整備課長】

①「住宅リフォーム支援事業」の住宅以外の店舗・事務所への拡大。「多世代同居リフォーム支援事業」の着手。「空き家リフォーム支援事業」のU・Iターン者も対象とした制度の一部実施。事業者への制度説明会や総合的な各種支援・助成制度の利用相談を窓口にて実施。
②権限行使の為、来年度内に地域協議会を設け、空き家の利活用促進対策など「空き家対策計画」を策定し「特定空き家判定基準」を示して、物件確認し対応する。
③都市計画マスタープラン戦略会議での意見を踏まえコンパクトシティ計画の見直し・拡充を図り、「立地適正化計画」の中で来年度には具

◆保健福祉課について

【上尾】

保健課・福祉課の管理体制と社会福祉協議会(社協)との業務委託も含めた移転協議の進捗状況は。

【副町長】

担当者間で関連する業務の情報共有し適正な事務処理を図り、課長補佐が業務管理、課長による業務指示の管理体制で対応する。社協の「社会福祉センター」の増改築と新庁舎付近での「地域福祉拠点施設」整備計画の提案を尊重して、他の公共事業との実施年度や財源の調整を図り、施設の機能等もあわせて協議検討する。

【福祉課長】

地域包括支援センターの業務全ての委託は難しいが、新たな支援体制の構築が必要となる業務もあり、可能な限り社協や民間事業者に協力をお願いする。



男性の育児休業取得向上に 向けた取り組みは

答弁 男女ともに育児休暇が取り易い
職場作りを目指したい

大塚 ひとみ 議員

【大塚】
若い女性が子育てをしながら個性と能力を充分に発揮し、輝きながら仕事をできる環境を作るには職場環境の整備が重要であり、地域で子育てを助け合う意識の強化や、それに加えて男性が育児や家事に参加する機会を高めることが不可欠である。男性の育児休業取得向上に向けた本町の取り組みは。

【総務課長】

平成23年度に1名が1ヶ月程度取得。社会情勢の変化もあり、男女ともに育児休業が取得しやすい職場環境づくりを目指したい。

◆和田公民館建替えの実施設計に
関わる住民協議について

【大塚】

①住民協議で出たアイデアを実施設計に反映を。

②代替公民館はどうなるか。

③愛称を募集してはどうか。

【教育委員会事務局長】

住民協議を年内に1回、年度

内に計3回程度設け、できるだけ住民アイデアを取り入れた実施設計とし、愛称募集による親しみのある公民館建設に努めたい。建替え中の代替公民館は、現公民館付近の空き施設借上げを検討しているほか、各講座等は各区集落センターや保健福祉センターの活用を視野に入れて実施していきたい。

◆TPPが町内一次産業に与える
影響について

【大塚】

一次産業を守り育てる観点から、TPPの影響が農林水産業従事者に及ぼす影響をどう捉えているか。

【まがひくろ課長】

米と大麦の、国による救済施策の対象から漏れる小規模農家には町による補助制度を検討する。漁業は影響が少ない。しかし一次産業はTPPに関わりなく、環境の変化に合わせた転換が必要となる。



新和田公民館建設に 伴う要望について

答弁 詳細は前向きに検討する

井上 順也 議員

いて反映するよう努めたい。

【井上】

現在、和田公民館は平成30年度の建替オープンに向けて、敷地の造成工事に入っており、新公民館に対して和田地区の住民の方々は、新たな地区発展の拠点として活用できると大きな期待をしているところである。

和田地区発展に大きく貢献してきており、特別な組織である地区委員会が、事務機能の円滑化のため、新公民館内に地区委員会の独立した個室(事務室)を設置してほしいとの強い要望に対して、野瀬町長の見解と誠意ある対応を伺う。

【町長】

和田地区委員会の協力なくして和田の社会教育の増進、推進はできないと思う。今後の実施設計にあたり密に協議させて頂き、詳細は前向きに検討する。

【教育委員会事務局長】

公民館としての公共性と地区委員会としての活動の円滑性を両立できる形を、今後の実施設計にお

◆高浜町町営住宅の運営計画について

【井上】

汐入団地等の建替計画は、入居者の利便性を考えた場所での建替を計画すべきである。住居の確保は、人口減少問題対策として重要な点と思うが野瀬町長の所見を伺う。

【町長】

人口減少問題対策として雇用と共に住まいは重要である。今後、時代に合ったものを具体策としてまとめたい。高齢者の方は、コンパクトシティ構想のもと集合住宅に入って頂く等の誘導も考える。

【建設整備課長】

町営住宅の再整備計画については、本年度は、計画策定に向けた基礎資料の収集を行ない、平成28年度に具体的な整備計画をまとめる予定である。



交付金を町内で

リサイクルさせて町に活気を

答弁 交付金の監査で制約ある

釣本 音次 議員

【釣本】 町内丹後街道の商店街と民宿が衰退していく現状に対する対策は。

【まちづくり課長】

衰退は、大きな時代の流れである。高浜漁港及び城山エリアの改修、旧塩屋を拠点に努力する。

宿泊客増加には、浜ベキュー、地魚メニューの助成、ブルーフラッグ認証取得等で対処する。

【釣本】

先ず、発信力の重要性を訴えたい。江戸末期に若宮から釈宗演が生まれている。福沢諭吉に直接学び山岡鉄舟と親交を持ち夏目漱石、鈴木大拙、西田幾多郎その他多くの著名人にも影響を与えた高僧である。おおい町にも高僧がおられる。小浜にも有名なお寺が多くある。高浜だけでなく嶺南地方という視点もある。小さな禅の道場を作り通年で誘客しては。

【まちづくり課長】

発信力の重要性は充分認識している。「ブルーフラッグ」「ハーバル

ビレッジ」などと文化歴史を上手く発信していく。

【釣本】

交付金累計が約400億円になり立派な建物は、多く建ったがこれだけの資金が投入されたのに活気がなくなぜ町が発展しないのか。

【町長】

平成14年以前は道路、箱物にしか使えなかった。

【釣本】

多額の交付金がゼネコンを通して町外に出た、ここが問題。交付金を町内でリサイクルさせ町民の皆様にも恩恵が得られるようにする。この視点が欠落している。

【町長】

交付金使途の場合、監査があり諸々の制約がある。

【釣本】

放送大学の重要性と必要性は。

【教育委員会事務局長】

受益者負担で行っていただきたい。



高浜原発3、4号機の

再稼働同意について

渡邊 孝 議員

内に実施する予定である。

国は10月、「使用済み燃料対策に関するアクションプラン」を策定した。福井県外における中間貯蔵について、2020年頃に計画地点を確定し、2030年頃に操業開始とのことである。国の積極的な取り組みが必要と考える。

◆子ども医療費無料制度について

【渡邊】

子ども医療費無料制度は、今では全県、全市区町村で実施され、有効な子育て支援策となっている。現在、高浜町は15歳まで無料としているが、少子化対策のためにもこれを18歳まで引き上げることが提案する。

【住民課長】

医療費助成の対象年齢引き上げが人口減少対策、定住促進としてより効果的であるかどうか、他の事業の拡充策とも比較検討しながら検証していく。

【町長】

また、今年度中に予定していた避難訓練はどうなっているか。さらに、使用済み核燃料を町内に置かせないと言っているが、そのようなことは可能か。

広域避難の計画と関係自治体との調整については、若干の調整が残っていたが、国の協議会の作業部会が終了したので、協議会開催も日程調整の段階である。

福井県から合同避難訓練の呼びかけがあったため、10月、学校、医療機関等との情報伝達訓練その他を行った。住民避難訓練も年度

予算決算常任委員会

委員長 栗野 明雄

◇12月7日(月)午前9時より

●議案第74号

■平成27年度高浜町一般会計補正

予算(第3号)

歳入歳出はそれぞれ9594万6千円を追加し、予算総額を125億20万9千円とする。

【審議の概要】

◆農林水産業費

農業生産基盤整備事業では土地改良の進捗状況の確認があった。

◆商工費

和田浜のトイレ整備に関してしつかりとした対応をするように要望が出た。看板設置に関しては、和製英語にならないような表記にするようにとの意見が出た。

■ブルーフラッグの承認団体は。

FEEという団体が認証すると言うことで、本部はデนมマークのコペンハーゲンにある。

おもてなし商業エリア創出事業



ハーバルビレッジ

青葉山健康長寿の里事業では、備品などが高額であるので、指定管理者と協議し、不要なものについては厳正に執行するように申し入れがあった。

は3年間の事業で、要望も5、6件ある。「和モダン」を取り入れるとの方針が出された。



和モダン イメージ



ブルーフラッグ取得に向けての情報掲示板

◆土木費

まちなか居住に関して、空き屋での漏電が心配である。メーターの配線を取り外せ。

配線は申請がないことには外せない、メーターが生きていると言いうことは、電気代の支払いがあると言いうことで所有者もはっきりしていると言いうことだ。と議員間での議論があった。

U・イターンの方が住居を改修するための補助金への要望があった。道路維持管理事業では、139

ある高浜町管理の橋梁の管理状況がしっかりと管理されていることを確認した。



橋梁の支柱

◆教育費

和田小学校のびのび教室の実施にかかる改修工事では、人口が減っている中、小学校の減築の検討をしたのか。

和田地区では、現在子どもが増える推移であることの答弁があった。また、避難場所であるののしつかりとした対応をするようにとの要望があった。



和田小学校のびのび教室改修工事



新庁舎工事現場

新庁舎公民館建設にともなうアート作品購入費では、地元作家も参加できるように要望があり、参加される方の制限はないの方針が示された。

総務産業常任委員会

委員長 山本 富夫

◇12月8日(火)午前9時より

●議案第75号

■高浜町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について

特定の個人を識別する為の番号の利用に関する法律の規定に基づき、個人番号の特定情報の提供に關し必要な事項を定めるための条例制定。

●議案第76号

■ふるさと応援基金条例の制定について

ふるさと納税による寄付金を適正に管理し有効に運用するための条例制定である。

理事者から、12月7日現在で238件の704万7千円の寄付があった旨の報告。

■寄付金の使途目的について。

ある程度基金にたまった段階で事業使途をインターネットにて報告するとの回答。

■寄付者に対する返礼品等の内容について。

お米が半数を占め、高浜の特産

品等の返礼品希望が多い。寄付金の取り扱いを委託しているRHトラベラーには月末締めで8%の委託手数料が支払われるとの回答がなされた。

●議案第77号

■高浜町税条例等の一部を改正する条例について

地方税法等の一部を改正する法律に基づく条例の改正。

●議案第78号

■高浜町青葉山健康長寿の里の指定管理者の指定について

平成28年4月から運用開始予定の高浜町青葉山健康長寿の里、青葉山ハーバルビレッジの指定管理者の指定についての案件。

提出者が株式会社いきいきタウン高浜1社となり、審議会により厳正なる審査により適合基準に合格。

●議案第79号

■高浜町道の駅の指定管理者の指定について

平成28年4月から道の駅「シーサイド高浜」の指定管理者の指定についての案件。

株式会社ウエイザとなり、審議会により厳正なる審査により適合基準に合格となった。

以上、【5議案全て可決】

総務産業常任委員会

視察報告

■山惣工業株式会社本社工場

高浜町議会総務産業常任委員会は、地元企業である山惣工業株式会社を視察した。今回の視察目的は、地方創生が急務である中で、人口減少社会など取りまく環境下でガンバル地域企業の視察であった。それは想像以上に素晴らしい活力が発揮されている企業であることを確認することが出来た。

社は、昭和24年1月創立され、昭和40年1月14日に現在の工場で木工製造工場として操業開始された。老舗の地場産業として優良な地位を築き上げ、現在3工場で140名の雇用を創出するなど地域に大きく貢献している企業の一つである。

事業内容は、大手住建材メーカーの下請け企業としてシステムキッチンのアッセンブリパーツ(組立品部材)の生産を完全受注生産でなされていた。注文から出荷まで1日のリードタイムしかなく、組み立てライン毎に時間別出荷がなされるなど生産管理システムが見事に構築されていたことに感銘を受けた。生産品を高浜、兵庫県東

市のL社に納品し、月産約4万5千キャビネットのシステムキッチンの組み立てが行われ、完成品は西日本エリアに供給されているようである。

企業課題として、品質、納期、原価が常に求められており日々の現場改善と品質管理を徹底することが最も大事であるとのことであった。2011年3月に起きた東日本大震災後の電気料金大幅アップは、社の3工場合算で約2千万円の電気代がコストアップとなったよう、早期に震災前の電力の価格安定供給が出来るよう原子力の再稼働を強く要求された。

今回の視察は、地場産業の重要性を再認識する機会となり、地域の資源を把握するためにも研鑽を深めていくことの大切さを学ぶことが出来た。



山惣工業株式会社

■ 視察報告

◇12月9日(水)

◇視察先

①和田公民館 ②高浜小学校

① 和田公民館

● 現況視察・造成地の現場視察

和田公民館の現況を担当者から説明を聞く。老朽化により天井から雨漏りが何ヶ所もあることを確認した。また2階を放課後学童クラブの事業で活用しているが暖房設備が不調である。

屋上から新

和田公民館の造成地を視察した。設計では利便性のあるL字型の建物配置となり、周囲に半屋外のテラスを設ける。



和田公民館の2階ホール

② 高浜小学校

● ALT授業参観

小学校外国語活動について
外国語指導助手(ALT)の活用時間数は、5・6年生ともに週2時間、各学級に入り担任とともに英語を指導している。ALTは、月、水に



ALT授業の様子

来校。指導するとき以外は、他の学年の給食に入ったり、クラブ活動に入ったり、児童とコミュニケーションをとっている。児童が英語に親しんでいる様子を見学した。

● 図書室見学

図書システム説明・整備状況

各学年の年間貸出目標を設定して取り組んでいる。図書の貸出はバーコードを取り入れてデータで管理している。高学年は自分でできる。



高浜小学校図書室

◇10月26日(月)・27日(火)

◇視察先

① 南医療生活協同組合

(愛知県名古屋市中区)

② 豊橋市役所長寿介護課

地域包括支援センター

(愛知県豊橋市)

① 南医療生活協同組合

地域の暮らしの支え合い・助け合いの協力を医療生協がマネジメントすることで、総合病院を中心とした暮らしのネットワークを構築し、まちづくりにもつなげられている。ひとりひとりのいのち輝くまちづくり。医療・保健・福祉といった施設内の活動にとどまらず、日常生活の改善にまで活動の対象を広げられている。



南医療生協(名古屋市)

② 地域包括支援センター

平成27年度豊橋市の高齢者人口は8万8516人である。平成25・26年度地域包括ケアサ

ービスモデル事業として2年間取り組んだ説明を聞く。高齢者が安心して住み慣れた自宅で生活を継続できるよう、高齢者



長寿介護課(豊橋市)

世帯の実態調査等から高齢者のニーズや地域の特性を把握し、高齢者が暮らしやすい地域コミュニティの再生を目指すとともに、高齢者自身が有する知識や能力を活かして地域の中で相互に支援し合える共助の仕組みを構築し、希薄になりがちな「地域の絆」を創生している。

● 救急情報ネットワーク事業の

運用と効果検証

外出先で万が一の事態になった場合に、救急隊がすみやかに情報を把握ができるよう、本人の医療情報や緊急連絡先が分かるネットワークを配付し、事業の効果を検証した説明を受けた。

原子力対策特別委員会

委員長 栗野 明雄

◇12月11日(金)午前9時30分より

高浜発電所ビスターズハウスにて

委員全員出席にて開催

高浜発電所3、4号機再稼働の対策工事・事故時の対応体制など安全対策の確認をするため、視察・現地確認・意見交換を行った。

関西電力からは、「新規制基準適合性にかかる審査状況」「安全性向上に向けた取り組みについて」などの説明を受けた。

質疑応答では、免震重要棟の現



視察風景

状について質問があり、規制上必要な緊急時対策所と切り離す事として設計変更している。緊急時対策所は今年度中に着工予定であり、免震重要棟は、資機材を保管したり要員が宿泊できるような施設にする、早期に建設したいと答弁があった。

高浜1、2号機の40年超運転の審査状況について質問があり、現在は2割程度の進捗状況とされている。耐震が大きな比重を占めるので、高浜3、4号機の基準地震動の議論が終わっているの適用できる。期限内に審査が完了する感触は持っている。



高台から対策状況を確認



放水口側防潮堤

人口減少問題対策調査特別委員会

委員長 山本 富夫

◇12月10日(木)午前9時より

委員会は、平成27年度完了事業である『地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)上乗せ交付金』の2件が国の採択事業として決定したので事業内容について確認した。

●タイプⅠ

国内初ブルーフラッグ認証取得に向けた高浜町まちなか案内誘導サイン等計画・設計事業費に626万4千円が決定。

●タイプⅡ

- ・若狭和田ライフセービング活動運営費補助 155万円
 - ・事業啓発グッズの作成(Tシャツ、うちわ、のぼり等)86万4千円
 - ・和田浜擁壁補修費補助139万4千円。
 - ・情報掲示板及び案内看板設置費用 610万円
- 総事業費990万8千円が決定。

委員からは、補助金の期間、平成28年度の予定等について質疑があり、補助事業期間は5年間で次年度は現在未定で内容が決まり次第委員会に報告する。

高浜町は人口減少対策の一環として、『地域の魅力を再発見。人と地域を結び、移住を応援する雑誌「TURNS」』で高浜町を紹介した。この企画は、まちづくり課、政策推進室、まちネット、いきいきタウン、若狭和田ライフセービングクラブの5名が大阪市の「デイリーパブリック」に赴き、12名の一般参加者に高浜町の魅力の発信として、高浜の紹介、移住支援制度等をアピールし将来高浜に来て頂くことをグループ別に相談、話し合いを行った。この内容を雑誌TURNSに記載され全国に発信された。ちなみに雑誌掲載は有料で1ページあたり約60万円の費用が掛かったとの報告があり委員からは、高額費用に疑問の声もあった。当委員会は、継続的な調査を実施している中で、総合戦略の細部について1月に委員会を再開して調査実施することで終了した。

鳥獣害対策特別委員会

委員長 井ノ元康夫

◇12月10日(木)午後1時30分より

当委員会では、今年度計画されている鳥獣被害調査の中間報告と、総合対策計画策定協議会について担当課と委託業者に説明を求めた。

中間報告では、町内の全集落(60集落)を対象とした、農地、里山における被害調査と聞き取りが概ね完了していて、来年度の対策に向けて調査データの取りまとめを行っている状況の説明であった。

調査した集落マップを例に被害状況、経路、柵・檻の設置状況、電気柵に関しては、設置してあるが有効な電圧でない柵が、7割を超えている事が示された。野菜クズの放置状況、誘因物となりそうな果樹などが図示されており、今後対策して行く上で重要な資料である事を確認した。



鳥獣害対策特別委員会の様子

また聞き取り調査では、町内4地区での被害は獣種の違いや、追払い、複合防護柵、草刈り等対策の違いがある事が報告された。

総合対策計画策定協議会については、この調査を元に町内各種団体や県担当部局からの委員で構成する協議を行う案が示された。

◆委員会での質疑

追払いを徹底するべきではないか。その一つとしてモンキードックが有効ではないか。
近隣市町と連携しながら対策すべきではないか。

運用面で厳しい管理が必要とされる事も明らかになっている。現在の駆除体制を維持しながら、対策計画を検討する協議会を設置したい。

調査が収穫後である事から時期的に問題があるのではないか。

調査時期は農地に獣を寄せ付けない為の対策に季節は関係なく行わないと被害は減らなないと考えている。

その後来年度から始まるテレメトリでの対策の説明がビデオで紹介された。

若狭消防組合議会

組合議員 磯部 武史

第171回

若狭消防組合議会定例会

◇10月22日(木)午後4時より

若狭消防組合議会議場にて

【審議事項】

●認定第1号

■平成26年度若狭消防組合一般会計歳入歳出決算の認定

◆歳入収入済額、15億2556万5145円

◆歳出支出済額、15億258万6938円

◆歳入歳出差引残額、2297万8207円

◆消防救急無線デジタル化整備事業費、2億7972円。

消防車両・消防施設等の充実を図るため、消防ポンプ自動車1台更新等に7305万6千円。

【全員賛成で認定】

●議案第1号

■平成27年度若狭消防組合一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1363万8千円を追加し、歳入歳出予算総額15億234万3千円とする。

◆消防団員活動活性化事業1210万2千円

◆消防団員安全装備品整備事業74万6千円

※創立90周年の小浜信用金庫様より、記念事業として消防指令車の寄贈を受けた。



消防指令車

【全員賛成で可決】

第172回

若狭消防組合議会臨時会

◇11月27日(金)午前11時より

若狭消防組合議会議場にて

【審議事項】

●議案第1号

■若狭消防組合火災予防条例の一部改正

消防施行令第10条に整合性を持たせる。

【全員賛成で可決】

●議案第2号

■若狭消防組合監査委員の選任につき同意を求めること

任期満了に伴い新たに監査委員を選任する。

高浜町横津海第33号17番地
的場 輝夫氏

【全員賛成で同意】



平成27年11月4、5日町内4地区において議員と語ろう会を開催いたしました。大変多くの町民の方々に参加して頂きまして貴重な意見を伺いました。ありがとうございます。一例ではありますが紹介いたします。

質問・要望 人口減少問題の決定的な打開策はあるか。

回答 第一子から優遇する。大学の奨学金を高浜に住む事を条件に一部免除するなどして生活しやすい環境を整えていく。次の議員

と語ろう会の場で人口減少問題の取り組みを説明する。

質問・要望 人口を増やすため結婚、出産などポイント制を導入してはどうか。経済的な面で結婚できない、子どもをつくれなケースが多いと思う。

回答 地方版の総合戦略の中で考えていきたい。

質問・要望 人口減少問題の対策は職員だけでは難しい。民間を活

用していくことが大事。早く対応すべき。

回答 議会の特別委員会です早く方向性を出し、行政に反映させていきたい。

質問・要望 ふるさと納税を予算化したが、見込みはあるのか。税金の使い道は。

回答 高浜町のPRとなるとともに町産品のアピールなど相乗効果が期待できる。まずは、返礼品の調達状況を考えて3000万円でやってみると聞いている。税金の



内浦公民館

使いみちは、町の振興に利用する。議会としてしっかり効果を検証していく。

質問・要望 新庁舎や体育館がよくなるが収容人員に対して駐車場が少ないように思うが。

回答 新庁舎は現状より増える方向である。中央体育館はテニスコートを廃止して、現状140台が188台と増える方向になっている。防災上の関係でも広げている。

質問・要望 役場跡地の議論はされているか。

回答 皆さんのご意見やご要望を聞いて判断していく。

質問・要望 本会議での議論が見えないが、全員協議会などで、どんな議論をやっていると聞いている。そうした様子を報告できるようにしてほしい。

回答 全員協議会も傍聴できるようになっている。またそうした様子が報告できるよう努力する。



青郷公民館

質問・要望 高浜駅でも高速バスの発着ができないか。

回答 運転手の運行時間の規定の関係で難しいと聞いている。

質問・要望 ブルーフラッグは、夏のためにやっているのか。夏期限定か。

回答 これからの観光戦略の中で生き残りをかけてやっている。日本初、オンラインワンを目指している。今まで通りのことは、どこでも考えている。国際規格を持った



保健福祉センター

安全な海水浴場がPRになる。安心なところにお客さんが何回も泳ぎに来て頂けることを目指すべき。日本にどこにもないきれいな海水浴場ということを位置づけることが大事だと思う。

質問・要望 ブルーフラッグの対象となる浜はどこまでか。取得する意義などについて。

回答 ライフセーバー等の制約からまずは和田浜で取得を目指す。今後、高浜町全体に広めていきたいと考えており、ぜひとも協

力をお願いしたい。

質問・要望 原子力発電所にかわる企業誘致を進めて欲しい。

回答 企業誘致は高浜町では大切だが、福井和郷でも町内から労働者を集めるのに苦労しているのが現実。企業誘致は高浜町だけで考えるのではなく、舞鶴市や若狭地域全体で考えていくべきである。

質問・要望 原子力災害の際の避難計画は、福島の教訓を生かしていない。国道の海抜が低く、津波で道路は使えない。乗用車の避難はできない。もっと現実的な避難計画をつくりあげる努力を願いたい。

回答 広域的な計画面はまだ不十分な面はあるが更に良いものになるよう議会としても、しっかりと取り組んでいく。また、防災安全課の体制が不十分との意見については行政に伝える。

質問・要望 鳥獣害対策特別委員会が設置されて数年経過している

が、あいかわらず効果が出ていない。いまだに調査特別委員会となっているがまだ調査の段階なのか。恒久柵などの抜本対策が必要ではないか。

回答 これまでの特別委員会活動によって鳥獣害対策費の予算も大幅に拡大し対策は進んでいる。何も議会がしてこなかったという訳ではない。恒久柵についてはこれまで地元負担を求めて設置した経緯もあって、これからは地元負担ゼロにすることもできない。今後の課題である。



瑞祥苑

注目の「若狭和田ライフセービングクラブ」の紹介

「若狭和田の海を安全だからこそ安心できる海にしたい。誰もがこの綺麗な若狭和田の海を楽しめるようにしたい。」

若狭和田ライフセービングクラブは2007年に設立し、現在、70名が所属し、15名は高浜町在住です。小学生から80歳代まで幅広い年齢層が所属しています。

ライフセービングとは、「水辺の事故を未然に防ぐ活動」を指します。その活動を行う人がライフセーバーです。ライフセーバーは「溺れた人を救助する人」ではありません。ライフセービングの本質は、水辺の事故が起こらない環境づくりです。そのため「救命」、「スポーツ」、「教育」、「環境」、「福祉」の5つのキーワードを掲げ、水辺の事故防止活動を続けております。

若狭和田ライフセービングクラブの活動の一端を紹介します。

●若狭和田海水浴場の監視活動
7月11日から8月23日までの44日間、監視活動を行いました。参加したライフセーバーは延べ290名でした。この3年間、若狭和田海水浴場の死亡事故はゼロです。

●アクアスロン大会などの安全確保
7月に高浜町で開催されたアクアスロン大会など、海で開催された大会の安全確保に参加しました。

●競技会への参加

ライフセーバーの競技会に参加しました。メンバーの山本裕紀子さんが9月に開催された全国大会でサーフスキー種目で優勝し、日本代表として世界大会に出場しました。

●ブルーフラッグ取得へ向けた取り組み
ブルーフラッグ（ビーチの国際環境認証）の取得へ向けた協力をしています。

●ハッピースマイルin高浜

ハンディキャップがある人も安心して楽しめる海でありたいという思いから、高浜町教育委員会とNPO法人おひさまの協力の下、「ハッピースマイルin高浜」という海水浴体験を実施しました。10家族14名の参加者にボランティア17名が対応しました。参加した子どもたちはじける笑顔を見ることができました。

●水辺の安全教育プログラムの実施

人の命を救う前に、自分の命を守る。この高浜町で子供の頃から自助の精神を養う教育の普及のため、和田小学校5、6年生、高浜中学校3年生、青郷小学校の先生方を対象に、メンバーが水辺の安全教育プログラムを実施しました。



水辺の安全教育



ハッピースマイルin高浜の参加者

編集後記

新人議員として8カ月が過ぎ去ろうとしています。時節柄、私も走っております。

高浜町にも良い兆しが見られるのでご紹介いたします。

ふるさと納税額が12月28日現在で約2657万円となり想定外の多さに驚いております。

若狭和田浜が12月に日本ライフセービング協会から日本第1号となる認定海水浴場を獲得、平成28年には、これもまた日本第1号となるブルーフラッグ認証取得に期待しております。

平成28年が町民の皆様にとって健康で幸多からんことを御祈念申し上げます。

文責／釣本 音次

広報特別委員会

委員長	栗野 明雄
副委員長	井上 順也
委員	小幡 憲仁
	釣本 音次
	西野 朋宏
	児玉 千明